

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—2—(1) 職員課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

職 員 課

2 あらゆる分野における女性の活躍推進

具 体 的 方 向

(1) 政策・方針決定における女性の参画拡大の促進

事業名		事業概要	
② 市における政策・方針決定における女性の参画拡大		行政機関での女性の管理職登用の推進	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	女性管理職 27.13%	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	公平な人事登用の実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
管理職登用率の確認及び引き続き性別にかかわらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用していく。	—	—	性別にかかわらず優秀な人材を管理職へ人事登用した結果。今後も引き続き性別にかかわらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用していく。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
女性管理職(6級以上) 35人 管理職総数(6級以上)124人	28.23%	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
管理職登用率の確認及び引き続き性別にかかわらず公平に優秀な人材を管理職へ人事登用していく。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—2—(1) 職員課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

職 員 課

2 あらゆる分野における女性の活躍推進

具 体 的 方 向

(1) 政策・方針決定における女性の参画拡大の促進

事業名	事業概要
④ 女性の人材育成等の推進	男女ともに活躍するための意識醸成

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	随時実施
---------------------------	------	----------------------------	------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
性別にかかわらず自己啓発に取り組みやすい職場環境の醸成に努めるとともに、向上心の動機付けを促す奨励・支援策を講じる。	—	—	今後も目標達成のため、引き続き支援を行っていく。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
職務の遂行に有益な資格取得等の自己啓発活動に対して、その経費の一部に助成を行った。 (自己啓発助成(資格取得)の申請者8人)	—	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
性別にかかわらず自己啓発に取り組みやすい職場環境の醸成に努めるとともに、向上心の動機付けを促す奨励・支援策を講じる。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。性別にかかわらず、今後も本事業が推進されることを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 職員課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担当部署

総合政策部

職員課

事業名		事業概要	
② セクシュアル・ハラスメント等の防止のための取組		セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発の実施	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	随時実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・課長補佐級(副主幹等)に昇格した職員に対し、職員課よりハラスメント防止に関する研修参加の通知を出し、研修を実施する(年1回)。 ・ハラスメントに対する啓発週間等を設け、周知徹底する。	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発	116	今後も目標達成のため、引き続き研修の実施および啓発を行っていく。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
・上記対象者に対し、ハラスメント防止・イクボス研修を外部講師を招き対面研修にて実施した。 ・人権週間に合わせて「職場におけるハラスメントの防止について」の通知を出し、ハラスメント防止について啓発を行った。	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発	116	■ 年度ごと □ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
・課長補佐級(副主幹等)に昇格した職員に対し、職員課よりハラスメント防止に関する研修参加の通知を出し、研修を実施する(年1回)。 ・ハラスメントに対する啓発週間等を設け、周知徹底する。	■ハラスメント防止・イクボス研修(年1回) ■人権週間にハラスメント防止の啓発	116

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 職員課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担当部署

総合政策部

職員課

事業名		事業概要	
② セクシュアル・ハラスメント等の防止のための取組		セクシュアル・ハラスメント、パワーハラスメント等に関する相談窓口の周知及び整備	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	随時実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・引き続き相談窓口の周知と相談体制の充実を図り、相談しやすい環境を整備する。 ・職場におけるハラスメント防止要領に基づき、適切な相談体制を確保する。	■人権週間に相談窓口の周知(年1回)	—	今後も目標達成のため、引き続き周知を行っていく。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
・人権週間に合わせて「職場におけるハラスメントの防止について」の通知を全庁的に発信し、相談窓口の周知を行った。 ・新規採用職員に対しても、採用時の研修等の中で相談窓口の周知を行った。	■人権週間に相談窓口の周知(年1回)	—	■ 年度ごと □ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
・引き続き相談窓口の周知と相談体制の充実を図り、相談しやすい環境を整備する。 ・職場におけるハラスメント防止要領に基づき、適切な相談体制を確保する。	■人権週間に相談窓口の周知(年1回)	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(1) 職員課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(1) 多様な働き方への推進

担 当 部 署

総 合 政 策 部

職 員 課

事業名	事業概要
① 職場環境、労働条件格差の解消の促進	長時間労働の解消

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	R4年度職員の平均超過勤務時間13.2時間	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	職員の平均超過勤務時間を月10時間以下 (令和8年3月31日までの目標。その後につい ては改めて目標を定める)
---------------------------	-----------------------	----------------------------	---

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・ノー残業デー強化月間(7～8月)を設定し、時間外勤務の抑制とワークライフバランスの推進に向け取り組む。 ・時間外勤務の上限規制に基づく時間外勤務状況を把握・管理する。	■職員の平均超過勤務時間を月10時間以下	—	今後も毎月所属長に時間外勤務状況報告書の提出を依頼することで、状況の把握及び業務分担の見直しを行うなどの早期のアプローチができる体制を維持しつつ、検証を重ねていく。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
時間外勤務の上限規制導入から5年目となり、時間外勤務状況の適正な管理・運用ができた。	■職員の平均超過勤務時間月13.7時間	—	■ 年度ごと	□ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					B	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
・ノー残業デー強化月間(7～8月)を設定し、時間外勤務の抑制とワークライフバランスの推進に向け取り組む。 ・時間外勤務の上限規制に基づく時間外勤務状況を把握・管理する。	■職員の平均超過勤務時間を月10時間以下	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(1) 職員課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具体的方向

(1) 多様な働き方への推進

担当部署

総合政策部

職員課

事業名		事業概要	
② 育児休業・介護休業制度の普及・促進		男性職員への育児休業、介護休暇制度の普及啓発	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	随時実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・取得しやすい環境づくりのため、引き続き課長補佐級(副主幹等)に昇格した職員に対する研修を実施する。 ・育休取得予定職員の所属長や係長にも制度の説明を個別に行い、制度の周知と取得しやすい環境づくりを目指す。	■ハラスメント・イクボス研修実施(年1回) ■男性職員の育休等取得率 30%	116	令和6年度の男性職員の育児休業取得率は、60%となり目標達成した。取得しやすい環境整備に向けて今後も検証を重ねていく必要がある。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
課長補佐級(副主幹等)に昇格した職員に対してイクボス研修を実施した。令和6年度の男性職員の育児休業取得率は、60%となり、目標数値である30%を上回り、目標達成することができた。	■ハラスメント・イクボス研修実施(年1回) ■男性職員の育休等取得率 60%	116	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
・取得しやすい環境づくりのため、引き続き課長補佐級(副主幹等)に昇格した職員に対する研修を実施する。 ・育休取得予定職員の所属長や係長にも制度の説明を個別に行い、制度の周知と取得しやすい環境づくりを目指す。	■ハラスメント・イクボス研修実施(年1回) ■男性職員の育休等取得率 30%	116

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(1) 職員課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具体的方向

(1) 多様な働き方への推進

担当部署

総合政策部

職員課

事業名	事業概要
③ 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	職場環境、制度の充実

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	随時実施
---------------------------	------	----------------------------	------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
テレワーク勤務やフレックスタイム制の導入等、多様な働き方のできる職場環境づくりを目指す。	—	—	テレワークを試行実施し、導入に向けた課題等の検証を行った。今後も引き続き検証を重ね、多様な働き方の実現を目指す。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
テレワーク勤務導入に向け、テレワークを試行実施した。	—	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					B	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
テレワーク勤務を本格導入する。今後もテレワーク勤務の推奨に当たり、制度の周知を図っていく。引き続きフレックスタイム制の導入等、多様な働き方のできる職場環境づくりを目指す。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上があった理由の記載をしてください。

協議会コメント

成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I —1—(3) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同
参 画 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(3) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画に関する講座の実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	年2回実施 ①カジ男養成講座(簡単レシピ編) ②女性のためのパソコン講座	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	年2回講座を実施 ①カジ男養成講座 ②女性のためのパソコン講座

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
男女共同参画に関する講座の実施。 ①カジ男養成講座(簡単料理講座)を2回に分けて実施する。(詳細は令和6年度に決定) ②女性のためのパソコン講座をExcel基礎編・応用編として実施する。	年2回	241	①カジ男を2回に分けて開催したことで、一人での参加、親子参加と様々な世代に参加をして頂くことができた。 ②基礎から学ぶことができ、基礎から応用の流れ参加にしたことでおおむね理解度に合わせた進捗ができた。 応用編については経験差が出やすいため、もう少し工夫の必要性も感じた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
男女共同参画に関する講座の実施。 ①カジ男養成講座(簡単料理講座)を和食編・洋食編として実施した。計15組の参加者からは、また参加したいと非常に好評であった。 ②Excel講座のマンネリ化や過去の参加者からの要望を考慮し、女性のためのパソコン講座をWord基礎編・応用編として実施した。	年2回	249	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
どちらの講座も令和7年度以後は廃止予定	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。引き続き本事業の継続を望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I —1—(3) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同
参 画 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(3) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画に関する講演会の実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	年1回実施、100人以上の参加	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	年1回実施200人以上の参加

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する。年1回開催 定員300人、対象:市民	115人	370	アンケート結果より親しみやすく、楽しく勉強できたとの声を多くいただき、自身について考えるきっかけとなった旨の感想を多くいただいた。参加人数は目標数値を超えなかったが好評であった。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
座間市男女共同参画推進委員会との共催で、7月6日(土)にあくしゅフォーラムを開催した。 参加:101人 講師:林家 染二氏(落語家)	101人	365	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					B	C

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
座間市男女共同参画推進委員会との共催であくしゅフォーラムを開催する。年1回開催 令和7年度はハーモニーホールの大規模改修のため、サニープレイス座間で行う。 定員100人、対象:県内在住者等	67人	370

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることが可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I —1—(3) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同
参 画 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(3) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画についての情報紙の発行	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	年46,000部の発行	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	紙面発行に加え、HP、LINE等での周知を行う

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
男女共同参画情報紙の発行 年1回 46,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公 共機関に配架し、市HPとLINEでも周知を行う。	46000部	755	関係機関への配付とともに、より多くの人に見 ていただけるよう周知を行うことができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
3月15日に男女共同参画情報紙「あくしゅ」を座間 市及び座間市男女共同参画推進委員会発行。 新聞折込数が減少したため配布部数も減少し た。36,000部を新聞折込、5,300部をポスティング による配布。これと併せて各公共機関に700部配 架した。また、市HPでの周知とLINEでの配信を 行った。	42000部	580	■ 年度ごと □ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					B	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
男女共同参画情報紙の発行 年1回 42,000部 新聞折込、ポスティングによる全戸配布及び公 共機関に配架し、市HPとLINEでも周知を行う。	42000部	721

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I —1—(3) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同
参 画 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(3) 男女共同参画に関する情報の収集と提供

事業名		事業概要	
① 男女共同参画に関する意識啓発の実施		男女共同参画に関する職員研修の実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	年1回実施する。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	年1回実施する。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
新規採用職員を対象とした男女共同参画に関する研修を開催する。	年1回	—	新規採用職員が、ワークライフバランスを含む男女共同参画社会の推進の必要性を意識してもらえるような研修ができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
新規採用職員を対象とした男女共同参画に関する研修を開催した。	年1回	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
新規採用職員を対象とした男女共同参画に関する研修を開催する。	年1回	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—2—(1) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同

2 あらゆる分野における女性の活躍推進

参 画 課

具 体 的 方 向

(1) 政策・方針決定における女性の参画拡大の促進

事業名	事業概要
① 審議会等への女性の登用推進	各種審議会等への女性登用の推進

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	各種審議会等の女性委員の比率 38.4%	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	各種審議会等の女性委員の比率 50%
---------------------------	----------------------	----------------------------	--------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけを行う。	40%	—	令和5年度までは3年連続で数値が上昇していたものの、令和6年度は微減した。引き続き周知に努めていく。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
令和6年度は5月27日付けで各所属長宛に事務連絡「令和6年度女性の公職参加状況調査について(依頼)」を送付し、周知した。	39.3%	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			B		B	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
「附属機関等への男女共同参画促進要綱」に基づき、審議会等の女性委員の比率50%を目指し、年1回担当課への文書による呼びかけを行う。	40%	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—2—(1) 人権・男女共同参画課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

総 合 政 策 部

基 本 的 方 向

人権・男女共同

2 あらゆる分野における女性の活躍推進

参 画 課

具 体 的 方 向

(1) 政策・方針決定における女性の参画拡大の促進

事業名	事業概要
④ 女性の人材育成の推進	男女共同参画に通じる人材の育成支援

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	人材育成のための研修会のチラシ等を配 架し広く周知した	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	人材育成のための研修会のチラシ等を配架し 広く周知する
---------------------------	--------------------------------	----------------------------	--------------------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
かながわ男女共同参画センター等、公共機関に おいて開催される講座のチラシを情報コーナー 等に配架し、広く周知する。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座等 を多くの人に周知する。	—	—	公共機関において開催される講座のチラシを 関係各所に配架し、広く周知することができ た。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
かながわ男女共同参画センターとの共催として、 女性管理職育成セミナー等、公共機関において 開催される講座のチラシを情報コーナー等に配 架し、広く周知した。 女性活躍推進法に関するチラシを産業振興課か ら関係各所に配布してもらい周知に務めた。	—	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
かながわ男女共同参画センター等、公共機関に おいて開催される講座のチラシを情報コーナー 等に配架し、広く周知する。 また、県が開催する女性のキャリアアップ講座等 を多くの人に周知する。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—1—(1) 人権・男女共同参画課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

1 異性に対する暴力の防止と根絶への取組の促進

具体的方向

(1) DV被害者への支援

担当部署

総合政策部

人権・男女共同参画課

事業名		事業概要	
① DVに対する相談体制の充実		DV相談の充実	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	週5日(月～金)で実施をしている	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	週5日(月～金)で実施をする

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
DV等相談を週5日(月～金)実施 県で開催されるDV問題に関する事例検討会や研修会などに参加し、スキルアップを図る。 相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、相談員が不在にならないようにする。	247日	5,740	担当不在による対応不足の解消に努めることができた。また、相談員が多様な研修会に参加をすることで識見を広めることができた。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、相談員が不在にならないようにした。 延べ600件のDV相談等があった。 また、県で開催されるDV問題に関する事例検討会等で、他市の相談員の意見を聞き、対応の参考にできた。	247日	6,303	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
DV等相談を週5日(月～金)実施する。 県で開催されるDV問題に関する事例検討会や研修会などに参加し、スキルアップを図る。 相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、相談員が不在にならないようにする。	242日	6,287

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—1—(1) 人権・男女共同参画課】

【人権の尊重】

重 点 目 標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基 本 的 方 向

1 異性に対する暴力の防止と根絶への取組の促進

具 体 的 方 向

(1) DV被害者への支援

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同
参 画 課

事業名		事業概要	
② DVに関する相談に対する関係機関との連携		DV対応情報交換会等を通じた関係機関との連携の強化	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	DV対応情報交換会を開催した	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	DV対応情報交換会を必要に応じ、早急に開催する

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
個別のケースに迅速かつ的確に対応するため、DV対応情報交換会を開催し、関係機関との情報共有のため連携を図るが、必要時以外は多くの関係機関を招集する交換会は開催せず、随時、小規模のケースカンファレンスを行っていく。	状況に応じて開催する	—	DV対応情報交換会により庁内や関係機関の担当者との関係性の構築を行うことができた。また、ケースカンファレンスにより相談者への手厚い支援を実施することができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
DV対応情報交換会を開催した。また、関係する課が複数にまたがる場合、担当者を集めたケースカンファレンスを随時行った。	状況に応じて開催する	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
個別のケースに迅速かつ的確に対応するため、DV対応情報交換会を開催し、関係機関との情報共有のため連携を図るが、必要時以外は多くの関係機関を招集する交換会は開催せず、随時、小規模のケースカンファレンスを行っていく。	状況に応じて開催する	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—1—(2) 人権・男女共同参画課】

【人権の尊重】

重 点 目 標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基 本 的 方 向

1 異性に対する暴力の防止と根絶への取組の促進

具 体 的 方 向

(2) DVIに対する暴力防止のための取組の推進

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同
参 画 課

事業名		事業概要	
① DV防止と啓発活動の促進		県等で開催される講座の情報提供	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	随時、遅延なく提供している	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	随時、遅延なく提供する

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。	—	—	講座情報等、情報コーナーだけでなく関係する課への情報提供に努めることができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに随時配架したほか、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間中に、市役所1階市民ホールに特設ブースを設け、市独自に作成したDVIに関するチラシとあわせて配架した。	—	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
県や、県内市町村で開催される講座情報等を情報コーナーに配架する。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 人権・男女共同参画課】

【人権の尊重】

重 点 目 標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基 本 的 方 向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具 体 的 方 向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同
参 画 課

事業名		事業概要	
② セクシュアル・ハラスメント等の防止のための取組		セクシュアル・ハラスメント等防止のための啓発の実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	市独自の啓発冊子の配布	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	市独自の啓発冊子の配布

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
市独自の啓発冊子を男女共同参画講座などで配布し意識啓発する。	300部	—	講座の際に配布し、男女共同参画やハラスメントについて啓発ができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
講座等にて配布をすることにより、幅広い年齢の方へ啓発をした。	300部	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
市独自の啓発冊子を男女共同参画講座などで配布し意識啓発する。	300部	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 人権・男女共同参画課】

【人権の尊重】

重 点 目 標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基 本 的 方 向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具 体 的 方 向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同

参 画 課

事業名	事業概要
③ 若年層に向けた暴力行為防止のための取組	メディア制作者への性差別意識是正のための取組

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	広報等での表現やイラスト等のチェック	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	広報等での表現やイラスト等のチェック
---------------------------	--------------------	----------------------------	--------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
広報ざま及び市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認し、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言 を行う	—	広報ざま及び市ホームページだけではなく、市が出している広報物についてできる限りチェックを行ったことで不適切な表現が公開されるのを未然に防ぐことができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
広報ざま及び市ホームページ等について、表現やイラスト等に男女の偏りが出ないよう、確認及び訂正の助言を行った。	適宜助言 を行う	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
広報ざま、市ホームページ等の表現やイラスト等の使用について確認し、必要に応じて差し替えの指示を出す。	適宜助言 を行う	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—1—(1) 人権・男女共同参画課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(1) 困難を抱えた女性等に対する支援

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同
参 画 課

事業名		事業概要	
② 様々な困難を抱える女性等への支援		相談体制の整備、充実	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	週5日(月～金)で実施をしている	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	週5日(月～金)で実施をする

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
DV等相談を週5日(月～金)実施 県で開催されるDV問題に関する事例検討会や 研修会などに参加し、スキルアップを図る。 相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、 相談員が不在にならないようにする。	247日	5,740	担当不在による対応不足の解消に努めることができた。また、相談員が多様な研修会に参加をすることで識見を広めることができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、 相談員が不在にならないようにした。 延べ600件のDV相談等があった。 また、県で開催されるDV問題に関する事例検討 会等で、他市の相談員の意見を聞き、対応の参 考にできた。	247日	6,303	☒ 年度ごと	☐ 複数年単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
DV等相談を週5日(月～金)実施する。 県で開催されるDV問題に関する事例検討会や 研修会などに参加し、スキルアップを図る。 相談員が研修等の時は、別の相談員が出勤し、 相談員が不在にならないようにする。	242日	6,287

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(2) 多様な性に関する理解及び環境整備

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同
参 画 課

事業名		事業概要	
① 各種行政サービス等の充実		パートナーシップ宣誓制度利用サービスの拡充	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	2組宣誓	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	パートナーシップ宣誓制度に関する周知。都市間連携の締結、制度の拡充を行うことにより宣誓者にとって利用しやすいサービスを目指す。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
パートナーシップ宣誓制度のマニュアル・チラシ等を公開し、パートナーシップ宣誓制度の周知を図る。	—	—	相模原市との都市間連携の締結により、宣誓者の利便性の向上を図ることができた。今後は利用可能サービス拡充に努めたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
3月14日に相模原市との都市間連携を締結した。宣誓者は3組増加したが、1組減少し、6組となった。	—	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する達 成状況の評価
					A	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
パートナーシップ宣誓制度のマニュアル・チラシ等を公開し、パートナーシップ宣誓制度の周知を図る。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(2) 多様な性に関する理解及び環境整備

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人権・男女共同

参 画 課

事業名	事業概要
② 多様な性に関する理解促進の意識啓発	多様な性に関する講座の実施

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	多様な性に関する講座を年1回実施	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	多様な性に関する講座を年1回実施
---------------------------	------------------	----------------------------	------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
LGBT研修講座として職員・市民向けに多様な性に関する講座を行う。	年1回	110	参加者より、「コミュニケーションの勉強になった」「理解が深まった」等非常に好評であった。今後も市民だけではなく、実際の窓口対応職員向けにも実施をしていきたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
LGBT研修講座として「多様な性ってなんだろう？～互いの違いを受け入れあえる社会を目指して～」をテーマに職員・市民向けに講座を行った。 参加者:46名	年1回	110	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
LGBT研修講座として職員・市民向けに多様な性に関する講座を行う。	年1回	110

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) 人権・男女共同参画課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

総 合 政 策 部

人 権 ・
男 女 共 同 参 画 課

事業名	事業概要
③ 家庭生活における男女共同参画の促進	男女共同参画に関する講座の実施

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	年2回実施 ①カジ男養成講座(簡単レシピ編) ②女性のためのパソコン講座	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	年2回講座を実施 ①カジ男養成講座 ②女性のためのパソコン講座
---------------------------	--	----------------------------	---------------------------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
男女共同参画に関する講座の実施。 ①カジ男養成講座(簡単料理講座)を2回に分けて実施する。(詳細は令和6年度に決定) ②女性のためのパソコン講座をExcel基礎編・応用編として実施する。	年2回	241	①カジ男を2回に分けて開催したことで、一人での参加、親子参加と様々な世代に参加をして頂くことができた。 ②基礎から学ぶことができ、基礎から応用の流れ参加にすることでおおむね理解度に合わせた進行ができた。応用編については経験差が出やすいため、もう少し工夫の必要性も感じた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
男女共同参画に関する講座の実施。 ①カジ男養成講座(簡単料理講座)を和食編・洋食編として実施した。計15組の参加者からは、また参加したいと非常に好評であった。 ②Excel講座のマンネリ化や過去の参加者からの要望を考慮し、女性のためのパソコン講座をWord基礎編・応用編として実施した。	年2回	249	☒ 年度ごと ☐ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
どちらの講座も令和7年度以後は廃止予定	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。引き続き本事業の継続を望みます。

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

総合政策部

市民広聴課

事業名	事業概要
③ 相談体制の充実	有害情報等による被害に関する相談の実施

プラン開始時 (令和4年度末)の状況	国民生活センターが開催している消費生活相談員の研修日数 相談員4名の研修実績 計5日間 (①3日間②1日間③1日間④0日間)	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	国民生活センターが開催している消費生活相談員の研修日数 相談員1名につき3日間を目標とする。 (相談員4名の場合、12日間とする。)
-----------------------	--	------------------------	--

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・相談員1名につき3日間の研修を受講する。 (相談員4名×研修3日間＝計12日間) ・相談対応に必要な知識や技法を習得し、相談員のレベルアップ、相談体制の強化を目指す。 ・消費者トラブルに関する最新の情報等について普及・啓発を行い、併せて消費生活センターの周知を図る。	12日	26	今年度は相談員が4名となった。 積極的に受講し、消費者被害の未然防止・拡大防止のための取組を行う。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
今年度は、研修のうち、一部オンライン実施があり、合計9日間にとどまった。日数としては減少ではあるが、実質は予定通りの実施となり、最新情報の取得、技術向上するに至る。 ※内訳：相談員4名(①3日間、②3日間、③2日間(オンライン)、④1日間(オンライン))	9日	26	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			B		C	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
・相談員1名につき3日間の研修を受講する。 (相談員2名×研修3日間＝計6日間) ・相談対応に必要な知識や技法を習得し、相談員のレベルアップ、相談体制の強化を目指す。 ・消費者トラブルに関する最新の情報等について普及・啓発を行い、併せて消費生活センターの周知を図る。	6日	26

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上があった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—1—(1) こども家庭課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

1 異性に対する暴力の防止と根絶への取組の促進

具体的方向

(1) DV被害者への支援

担当部署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
① DVに対する相談体制の充実		児童相談の充実	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	係長1名、保健師1名、専門相談員2名、係員3名で相談業務を行う。	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	児童相談のスキルアップ こども家庭センターの設置による連携体制の強化

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
児童虐待相談対応の充実のため、神奈川県等が実施する研修を受講し、職員のスキルアップを図る。 関係機関と連携し、多様な課題を抱えるケースに対応する。 こども家庭センターの設置に向け、連携体制を整える。	—	16,306	各関係機関と連携し、様々なケースに対応することができた。 こども家庭センター設置に向けた体制は整えることができた。今後設置後の細かい運用等について定めていくことが必要となる。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
神奈川県等が実施する児童相談に関する研修や、児童虐待に関する研修等を受講し、職員のスキルアップにつなげることができた。児童相談所やその他の関係機関と連携し、様々なケースに適切に対応した。こども家庭センターの体制等定めることができた。	児童相談 (虐待等) 件数: 256 件	12,601	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
児童虐待相談対応の充実のため、神奈川県等が実施する研修を受講し、職員のスキルアップを図る。 関係機関と連携し、多様な課題を抱えるケースに対応する。 こども家庭センターを設置し、運用について定める。連携強化のためシステム改修を実施する。	—	18,578

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—1—(1) こども家庭課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(1) 困難を抱えた女性等に対する支援

担 当 部 署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
① 貧困に直面する女性等に対する支援		ひとり親家庭に対する高等職業訓練促進給付金の支給による経済的自立の支援	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	高等職業訓練促進給付金受給者数:7人	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	国による支給要件の変更に対応し、世の中のニーズに反応できるよう適宜対応する。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
国による支給要件の変更が頻繁に行われるため、その都度対応し、世の中のニーズに反応できるよう継続して対応する。	8人	12,170	国による支給要件の変更が頻繁に行われるため、その都度対応し、世の中のニーズに反応できるよう適宜対応する。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
国による支給要件の変更が頻繁に行われ、対象となる講座も増え、市もその変更に対応したこともあり、受給者数増となった。	9人	10,563	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
国による支給要件の変更が頻繁に行われるため、その都度対応し、世の中のニーズに反応できるよう継続して対応する。	9人	12,210

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—1—(1) こども家庭課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具体的方向

(1) 困難を抱えた女性等に対する支援

担当部署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
② 様々な困難を抱える女性等への支援		児童施設等の充実	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	子育てについての相談、情報提供、助言を随時実施。	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	子育てについての相談、情報提供、助言を継続して実施。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
子育て支援センターにて、子育て家庭が抱える育児不安等の解消を図るため、親や子供達の交流の場になることや、子育てについての相談、情報提供、助言を実施する。また、出張相談会を開催するなどし、相談体制の充実に努める。開催場所に応じ、利用者数の多い時間帯での実施や、新たな場所での開催を試みる。	600件	23,064	出張相談会においては毎回参加する利用者が一定数おり、センターへの来所にもつながった。令和7年度は開催場所に応じて利用者数の多い時間帯での実施や、新たな場所での開催を試みていく。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
子育て支援センターにおける相談等を行った。利用者支援事業(基本型)については、イオンモール座間で出張相談会(月1回)を開始し、子育て支援センター以外でも子育てについての相談を受ける体制を整えた。	574件	23,064	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			B		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
子育て支援センターにて、子育て家庭が抱える育児不安等の解消を図るため、親や子供達の交流の場になることや、子育てについての相談、情報提供、助言を実施する。また、出張相談会を開催するなどし、相談体制の充実に努める。	720件	23,190

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。今後も頑張ってください。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) こども家庭課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
① 公的サービスの充実		出産、子育てに係る費用の支援	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	出産・子育て応援給付金(妊娠時・出産時 にそれぞれ5万円給付)を実施。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	国による補助事業を活用し、金銭的な支援を 継続する。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
国による補助事業を活用し、金銭的な支援を継続する。	1,800人	90,000	経済的な支援と合わせ、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を実施した。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援の充実と、経済的支援を一体として実施する際、電子申請を用意することにより、来庁せずに申請や相談を可能とした。	1,409人	70,450	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			B		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
法定事業となったため廃止する。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上昇理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) こども家庭課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
② 地域での支援体制の充実		ファミリー・サポート事業(子育て援助活動支援事業)の充実	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	ファミリー・サポート事業の会員数:734人	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	ファミリー・サポート事業における会員数の維持

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の世帯など、児童の預かりの援助を受けたい会員(利用会員)と、当該援助を行いたい会員(協力会員)との地域における育児の相互援助活動を維持し、様々な生活環境の世帯への支援体制を維持する。	804人	9,084	協力会員が減少傾向にある中で、協力会員になるための講習実施日時など、受講しやすい設定とし、現在の支援体制を維持する。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
協力会員になるための面談を土曜日に実施するなど、新規の支援を受け入れやすい環境を作った。	933人	9,084	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の世帯など、児童の預かりの援助を受けたい会員(利用会員)と、当該援助を行いたい会員(協力会員)との地域における育児の相互援助活動を維持し、様々な生活環境への支援体制を維持する。	933人	8,645

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) こども家庭課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具体的方向

(2) 様々な生活環境への支援

担当部署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
③ 家庭生活における男女共同参画の促進		ワークライフバランスと子育ての公的支援	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	ハローベビークラス(母親父親クラス)参加者数 妊婦 67人 父 63人	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	家族で支えあい出産、育児の準備ができるよう支援する。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
妊娠18週から35週の初産婦とそのパートナーを対象とし、講義、実演を通して産前、出産、産後のイメージができるよう教室を開催する。コロナ渦で中止していたグループワークの再開を考えている。管理栄養士の講義内でグループワークを盛り込むことで、参加者同士の交流を促し、事業の改良に取り組む。	参加者数 妊婦65人 父60人	220	グループワークを追加し参加者同士で会話する機会が増えた。家族内での役割分担や育児観について話し合えるとよい。出産間近の参加者は受講中に体調を崩すことがあり、適切な対象選定が課題として挙げられる。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
前年度と比較し、参加者数は増加した。管理栄養士の講義の中でグループワークを取り入れたことで、参加者同士で積極的に交流が持て、発言機会を多く取ることができた。アンケートの結果では教室内容に好意的な意見が多かった。	参加者数 妊婦66人 父 62人	204	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			A		B	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
妊娠18週から30週までの初産婦とそのパートナーを対象へと変更し、教室を開催する。参加者が家族内での役割分担や育児観について共有する場を作っていく。	参加者数 妊婦68人 父65人	220

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上があった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—3—(1) こども家庭課】

【社会づくり】

重 点 目 標	担 当 部 署
Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり	こ ども 未 来 部
基 本 的 方 向	こ ども 家 庭 課
3 生涯を通じた健康づくり	
具 体 的 方 向	
(1) 生涯にわたる健康支援	

事業名	事業概要
① 保険、医療対策の充実	産後2週間、1か月の産婦に対する健康診査に係る費用の助成

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	産婦健康診査費用補助券利用者数延べ 1325件	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	産婦健診の機会の確保と産後うつ等の早期 介入
---------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題												
母子健康手帳交付時や出生手続時、転入時に事業説明を行い周知を図ること、また、委託外医療機関での出産において「里帰り出産依頼書」を渡し、アンケート協力やリスクがある場合には周産期養育支援連絡票を送付していただく依頼は継続する。 合わせて、医療機関から確実にアンケートが市へ返却されるよう、委託先(神奈川県産科婦人科医会)での確認の徹底を依頼する。また、医療機関に対して、アンケート高得点や市からの早期介入が必要なケースに対しての対応について周知徹底し、適切なタイミングで支援できるよう努める。	1,305件	6,990	産婦健診の周知は徹底されており、未受診者の報告はない。一方で、医療機関からアンケート高得点や要指導でも早期連絡がないことがあり、産婦の状況や医師の判断などの詳細がわからず、産後うつ等の早期発見、早期介入がしづらくなることが懸念される。												
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位												
母子健康手帳交付時や出生手続き時、転入時に事業説明を行い周知を図った。また、委託外医療機関での出産においては「里帰り出産依頼書」を渡し、アンケート協力やリスクがある場合には周産期養育支援連絡票を送付して頂く依頼をしている。	1,186件	6,235	<table><tr><td>☒ 年度ごと</td><td>☐ 複数年度単位</td><td>/</td><td>年</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>令和6年度の実施結果 における評価</td><td>プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>B</td><td>B</td></tr></table>	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年			令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価			B	B
☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年												
		令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価												
		B	B												

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
母子健康手帳交付時や出生手続時、転入時に事業説明を行い周知を図ること、また、委託外医療機関での出産において「里帰り出産依頼書」を渡し、アンケート協力やリスクがある場合には周産期養育支援連絡票を送付していただく依頼は継続する。 合わせて、医療機関から確実にアンケートが市へ返却されるよう、委託先(神奈川県産科婦人科医会)での確認の徹底を依頼する。また、医療機関に対して、アンケート高得点や市からの早期介入が必要なケースに対しての対応について周知徹底し、適切なタイミングで支援できるよう努める。	1,210件	6,485

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント
十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—3—(1) こども家庭課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

3 生涯を通じた健康づくり

具体的方向

(1) 生涯にわたる健康支援

担当部署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
② 妊娠・出産等に関する健康保持や情報提供の充実		妊娠、出産に関わる事業の実施	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	妊産婦健康診査費用補助券利用者数延べ 9,548人	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	妊婦の健康管理の機会の確保

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
・母子健康手帳交付時に妊産婦健康診査費用補助券(14回分)、多胎妊婦には追加で5回分(15～19回目)交付を継続する。 ・市外へ転出した際には補助券が使用できなくなることから、窓口交付時における説明の徹底と、戸籍住民課で配布する転入手続に関する資料への記載、こども家庭課への案内を継続してもらう。 ・県内の妊婦健康診査の公費負担額の状況を確認し、実施計画から予算を計上、本市の公費負担額を検討する。	9,680人	45,127	・妊婦健康診査の公費負担状況は全国で神奈川県が最も低く、県内においても座間市は最低水準である。また、近隣医療機関への聞き取りからも1回数千円～1万円以上の自己負担額が発生しており、適切な時期に妊婦健診を受けられない妊婦がいる可能性が考えられる。そのため、県の妊婦健診検討会からも令和8年度から県統一版、受診券方式の交付に向けた予算化の通達が来ており、実施計画から予算を計上し、本市の公費負担額を検討する必要がある。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
・母子健康手帳交付時に妊産婦健康診査費用補助券(14回分)、多胎妊婦には追加で5回分(15～19回目)を交付した。 ・補助券作成時に、有料広告の公募による無償作成を検討したが、今年度も事業者が公募で集まらなかったため、印刷事業者に委託契約し作成した。 ・県の妊婦健診検討会から妊産婦健診費用補助券について「令和8年度から受診券方式、県統一版(計11万1,000円)」で交付できるよう各市町村で予算化するよう通達があった。	8,552人	40,284	☒ 年度ごと		☐ 複数年度単位	/ 年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			B		B	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
・県の妊婦健診検討会からの通達に基づいて予算化できるか、実施計画から予算を計上、本市の公費負担額を検討する。 ・多胎妊婦の追加補助券については、近隣市町村の動向を確認し、交付を継続するかについても検討する。 ・転出後座間市の補助券を利用してしまわないよう、妊娠届出時に注意喚起すること、また転出手続時に戸籍住民課職員にこども家庭課への案内を継続依頼する。	8,811人	40,227

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—3—(1) こども家庭課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

3 生涯を通じた健康づくり

具体的方向

(1) 生涯にわたる健康支援

担当部署

こども未来部

こども家庭課

事業名		事業概要	
② 妊娠・出産等に関する健康保持や情報提供の充実		産婦の心身のケア、育児サポート	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	①産後ケア利用者数386人(延人数) ②乳房ケア利用者数60人	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	必要とする者に産後ケアの機会を確保する

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
①利用枠の拡大に向け、実施計画から予算計上し、複数事業所との委託や現委託事業所との宿泊型産後ケア事業について検討する。 ②利用者拡大に向け、事業名を変更(「乳房ケア」→「訪問型産後ケア事業」)する。また、実施計画から予算計上し、対象期間や利用回数、補助金額について検討する。 ①②共に令和5年度の活動内容を継続する。	①432件 ②48件	7,125	通所型の利用希望者は多いが、申請者のうち半数以上が利用していない。訪問型は昨年度の結果を基に名称変更したが、利用期限や料金の変更はなく、利用者は減っている。通所型に対して自己負担額が高いこと、1回のみ利用であること等が利用増加につながらない理由と考えられる。これらを踏まえて体制を整備したことで、利用者の利便性向上や産後の不安解消を図れたか、事業評価を行う必要がある。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
①通所型…利用者数:229人(利用件数:410件) 利用券発行数:1468回分 ②訪問型…利用件数:49件 産後の母児が必要時に適切なケアを受けられるよう、新たに宿泊型も追加した形で事業を統一・拡充。これに伴い、全体で7回利用できる補助券交付や、利用枠の拡大に向け公募で委託事業者を募集・契約できる体制を整備した。	①410件 ②49件	6,956	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			B		B	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
産後1年までの母児が必要時に適切なケアが受けられるよう産後ケア事業の実施・運営を行う。また、産後ケア事業拡充後の利用者・実施事業者双方の声を聞き、実施方法・母児の利用方法等の見直し・修正を行う。 (目標数値:①通所型、②訪問型、③宿泊型)	①567件 ②203件 ③41件	12,512

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上があった理由の記載をしてください。

協議会コメント

成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) こども育成課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

こども未来部

こども育成課

事業名		事業概要	
① 公的サービスの充実		各種子育て、保育サービスの実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	市内15箇所の公設児童ホームの運営	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	待機児童の解消及び利用者のニーズに合った児童ホームの運営

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
既設児童ホームの安定的な運営及び受入児童枠の継続	782人	258,048	・一時移転等により安定した事業継続ができた。 ・利用児童の安全面の観点から児童ホームの学校内移転を進める中で受入定員数の拡大へ向け、関係機関との調整に努める。 ・老朽化の進む公共施設の施設修繕に伴い、移転先を探す必要があるが、途切れることなく安定的な受入を継続する。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
相武台コミュニティセンターの大規模修繕に伴い、相武台児童ホーム及び相武台地区児童ホームを相武台東小学校に一時移転を実施した。	782人	254,005	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12 年度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
既設児童ホームの安定的な運営及び受入児童枠の継続	782人	273,812

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I — 1 — (1) 保育・幼稚園課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

こども未来部

基 本 的 方 向

保育・幼稚園課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女共同参画に関する教育の充実

事業名	事業概要
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実	幼児期における男女平等教育の実施

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	保育参観年2回実施(令和4年度は新型コロナウイルス感染症のため実施なし)	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	保育参観年2回実施
---------------------------	--------------------------------------	----------------------------	-----------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
保育参観を実施し、保育現場だけではなく、日常の家族生活中でも、男女区別の意識を無くすため、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から互いを尊重しあう大切さを教える。	2回	—	概ね実施できたため、今後も努めていきたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
令和5年度より、保育参観1回、保育参加(実際に保護者の方に保育に参加してもらう)1回の実施に変更した。 父にも保育の参加を呼び掛ける等、日常の保育の中で保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から男女の区別なく互いを尊重しあうことに努めた。	2回	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
保育参観を実施し、保育現場だけではなく、日常の家族生活中でも、男女区別の意識を無くすため、保育士と家族が連携し、乳幼児の育児時期から互いを尊重しあう大切さを教える。	2回	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I — 1 — (1) 保育・幼稚園課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

こども未来部

基 本 的 方 向

保育・幼稚園課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女共同参画に関する教育の充実

事業名	事業概要
② 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解の促進	指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	随時実施	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	随時実施
---------------------------	------	----------------------------	------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
職員の地域支援研修について、参加を呼びかけ実施する。受講した職員は、保護者からの相談に活かせるよう努める。	500人	1,449	概ね実施できたため、今後も努めていきたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
研修を受けた職員が、他の職員にフィードバックし、それぞれが保護者からの相談に対応できた。	235人	1,551	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					C	C

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
職員の地域支援研修について、参加を呼びかけ実施する。受講した職員は、保護者からの相談に活かせるよう努める。	500人	1,500

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(1) 保育・幼稚園課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(1) 多様な働き方への推進

担 当 部 署

こども未来部

保育・幼稚園課

事業名	事業概要
③ 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識啓発の実施

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	市内の公・私立保育園で育児相談事業を展開している。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	各保育園で統一した育児相談事業を随時実施する。
---------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
全ての保育園で、男女がともに仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	31園	2,950	概ね実施できたため、今後も努めていきたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
市内の公・私立保育園で、園庭解放(週1回)や保育フェスティバルの時に訪れた保護者に対し、声かけをし、父親も気軽に相談ができる環境を整えた。また、育児相談については、保育園に看板を掲示し随時育児相談を行っていることの周知を図った。	31園	2,405	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和5年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
全ての保育園で、男女が共に仕事と育児の両立ができるように、父親も気軽に保育園で育児相談等ができる環境を整える。	31園	3,031

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) 保育・幼稚園課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

こども未来部

保育・幼稚園課

事業名	事業概要
② 地域での支援体制の充実	児童施設等の充実及び待機児童の解消

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	民間保育所で定員の弾力的運用を行っている。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	座間市子ども・子育て支援事業計画に沿って 保育所整備等を進め、待機児童の解消に努 める
---------------------------	-----------------------	----------------------------	---

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
新設認可保育所の開設	1園 (75人)	51,600	一定の効果が得られた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
令和6年中、3園の定員増につながる取組を実施し、令和7年度募集から定員増を実施した。 ・認定こども園 栗原幼稚園への移行(30人) ・認定こども園 東原幼稚園への移行(50人) ・子どもの家ひまわり保育園の定員増(10人)	3園 (90人)	0	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	C

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
・認可保育所分園の整備 ・小規模保育施設の開設	2園 (38人)	46,040

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I —3—(1) 市民協働課 】

【意識改革】

重 点 目 標	担 当 部 署
I あらゆる分野における男女共同参画の推進	地 域 づ くり 部
基 本 的 方 向	市 民 協 働 課
3 地域等における男女共同参画の推進	

具 体 的 方 向
(1) 地域活動等における男女共同参画の推進

事業名	事業概要
① 地域団体、市民活動等への男女共同参画の推進	地域活動拠点の整備と利用促進
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	コミュニティセンター及びプラっとざまの年間利用者数:173,829人
プラン終了時 (令和12年度末)の目標	コミュニティセンター及びプラっとざまの年間利用者数:332,000人

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題
コミュニティセンター8館及び市民交流プラザを地域住民の利用に供する。	332,000人	167,526	ひばりが丘コミュニティセンター及び相武台コミュニティセンターにおいて、改修工事に伴う閉館期間があったが、前年度比約109%となった。 順調に目標値に近づいているので、今後も取組を継続したい。
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位
コミュニティセンター8館:利用者数 203,305人 市民交流プラザ:利用者数 32,221人	235,526人	161,909	☒ 年度ごと ☐ 複数年度単位 / 年 令和6年度の実施結果における評価 B プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価 B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
コミュニティセンター8館及び市民交流プラザを地域住民の利用に供する。	332,000人	167,474

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント
成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—2—(1) 産業振興課 】

【意識改革】

重 点 目 標	担 当 部 署
I あらゆる分野における男女共同参画の推進	地 域 づ くり 部
基 本 的 方 向	産 業 振 興 課
2 あらゆる分野における女性の活躍推進	

具 体 的 方 向
(1) 政策・方針決定における女性の参画拡大の促進

事業名	事業概要
③ 市内企業等における政策・方針決定における女性の参画拡大	市内事業所における女性の参画推進の啓発

プラン開始時 (令和4年度末)の状況	近隣市町の実組状況の把握、事業所への情報提供	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	・有効な取組状況・事例が得られた場合は事業所へ情報提供 ・事業所(企業)向けの女性の参画推進に関するリーフレット等を関係各所に配架
-----------------------	------------------------	------------------------	--

○ 令和6年度の目標及び活動内容等	※目標数値及び実績数値は実数値を入力			
目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題	
県央地区市町労働行政連絡協議会にて、女性の参画推進に関する取組事例の収集に努める。 また、国・県が実施する女性の参画拡大等の取組の情報発信により、労働環境の整備、改善を図る。	2回/年 (協議会への出席)	—	労働行政の協議会では、労働や事業運営に関する協議内容が多く、女性の参画拡大に関する事項が挙がることは少ない。 令和7年度は、労働行政担当課として近隣都市の労働担当課の状況や、情報情報収集に努める。	
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位	
令和6年度の協議会では、融資制度についてや貸付制度といった議題が出たものの、女性の参画推進についての議題が挙がらなかったため、事業所への情報提供に至らなかった。しかし国及び県から送付された事業所(企業)向けの女性の活躍推進や女性の参画推進に関するリーフレット等については、関係各所に配架し、情報提供することができた。	2回/年 (協議会への出席)	—	☒ 年度ごと ☐ 複数年度単位	年
			令和5年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
			B	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等	※目標数値は実数値を入力		○ 評価と評価内容について
目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	A 目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
県央地区市町労働行政連絡協議会にて、女性の参画推進に関する取組事例の収集に努める。 また、国・県が実施する女性の参画拡大等の取組の情報発信により、労働環境の整備、改善を図る。	2回/年 (協議会への出席)	—	B 目標に対する達成率が70～90%
			C 目標に対する達成率が40～60%
			D 目標に対する達成率が10～30%
			E 未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント
成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(1) 産業振興課】

【社会づくり】

重点目標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基本的方向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具体的方向

(1) 多様な働き方への推進

担当部署

地域づくり部

産業振興課

事業名	事業概要
③ 多様な働き方のできる職場環境整備の充実	事業所等における男女共同参画に関する取組事例の収集・提供

プラン開始時 (令和4年度末)の状況	近隣市町の取組状況の情報収集、事業所への情報提供	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	・有効な取組状況・事例の事業所へ情報提供 ・事業所(企業)向けの男女共同参画に関するリーフレット等の配架
-----------------------	--------------------------	------------------------	---

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題												
県央地区市町労働行政連絡協議会にて、女性の参画推進に関する取組事例の収集に努める。また、国・県が作成する労働環境の整備、改善を図るためのリーフレット等を関係各所に配架する。	2回/年 (協議会への出席)	—	令和7年度の労働行政担当課としては、老若男女問わず労働者の権利を遵守し、安心して働ける労働環境の整備をする取組をしていく必要があるため、引き続き国、県等から配架されるリーフレット等を配架し周知を図っていく。												
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位												
労働行政連絡協議会では男女共同参画に関する情報収集に至らなかったが、国・県が作成する事業所(企業)向けの女性の活躍推進を含む労働環境の整備・改善に関するリーフレット等の配架により、情報提供することができた。	2回/年 (協議会への出席)	—	<table><tr><td>☒ 年度ごと</td><td>☐ 複数年度単位</td><td>/</td><td>年</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>令和5年度の実施結果における評価</td><td>プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>B</td><td>B</td></tr></table>	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年			令和5年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価			B	B
☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年												
		令和5年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価												
		B	B												

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
県央地区市町労働行政連絡協議会にて、女性の参画推進に関する取組事例の収集に努める。また、男女共同参画を含む労働者全般の労働環境の整備、改善を図るため、国・県が作成するリーフレットや取組等を関係各所に配架し、周知する。	2回/年 (協議会への出席)	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント
成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 Ⅰ—3—(2) 危機管理課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進

くらし安全部

基 本 的 方 向

危機管理課

3 地域等における男女共同参画の推進

具 体 的 方 向

(2) 防災・災害対策分野における男女共同参画の促進

事業名	事業概要
① 多様な視点を取り入れた地域防災の促進	多様な視点を取り入れた地域防災計画の策定、運用

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	子育て支援団体向けの防災講話(1回、約18名)及び、当該年度に作成した「子育てファミリーのための防災ハンドブック」(1,000部)を、子育て支援センター等で配布した。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	こどもや多様性に関する防災講話等については、3回/年以上を実施すると共に、「防災ハンドブック」(1,000部)の配布を毎年継続させる。
---------------------------	---	----------------------------	---

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
こどもや多様性等に関する防災講和(研修)等を年3回以上実施するほか、3階危機管理課、2階ネウボラざまりん(母子手帳交付時)等にて、ハンドブック(約1,000冊)を配布する。	講話等3回 1,000部配付	99	目標は達成した。 引き続き、要望に応じて実施する。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
市内の子育て支援センター2か所に対して防災講話を実施した。多様性に関するワークショップや、要配慮者を対象とした講座や訓練を実施した。子育て支援センター、市役所3階危機管理課、2階ネウボラざまりん(母子手帳交付時)にて、ハンドブック(1,000冊)を配布した。	講話等3回 1,000部配付	99	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
こどもや多様性に関する防災講話等については、年3回以上実施するとともに、「防災ハンドブック」(1,000部)の配布を毎年継続する。	講話等3回 1,000部配付	99

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ―1―(1) 地域福祉課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(1) 困難を抱えた女性等に対する支援

担 当 部 署

福 祉 部

地 域 福 祉 課

事業名		事業概要	
② 様々な困難を抱える女性等への支援		相談体制の整備、充実	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	週5日(月～金)で実施をしている	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	週5日(月～金)で実施をする

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
生活困窮者相談を週5日(月～金)実施 庁内・外との連携を図るため、支援調整会議、包括的支援体制構築ワーキンググループ、居住支援協議会を開催し、相談体制の整備・充実に努める。	246日	101,526	各会議開催により、庁内や民間団体等との繋がりをもち、多種多様な相談内容へ対応することができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
新規相談が484件あった。 相談員が会議に参加することで、識見を深めることや連携先が増え、様々な相談ケースに対応することができた。	246日	83,126	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行に伴い、相談支援体制の充実・整備は人権・男女共同参画課に移管する。	—	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ—2—(2) 障がい福祉課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

2 誰もがともに活躍できる社会の実現

具 体 的 方 向

(2) 様々な生活環境への支援

担 当 部 署

福 祉 部

障 が い 福 祉 課

事業名	事業概要
① 公的サービスの充実	障がい福祉に関する支援

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	障がい福祉に関する相談件数7,938件	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	障がい福祉に関する相談件数10,000件
---------------------------	---------------------	----------------------------	----------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
令和5年度に構築した障がい種別に関わらず地域担当制により総合的な相談支援を実施する支援体制を維持し、幅広い相談に応じていく。	8,800件	45,095	目標及び活動内容のとおり、総合的な相談支援を実施する支援体制を維持しながら、地域差なく、幅広い相談に応じていく体制を整えることができた。より推進していきたい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
障がい種別に関わらず地域担当制による総合的な相談支援を実施する支援体制を構築したことにより、地域差なく、幅広い相談に応じていく体制を整えることができた。	8,913件	44,912	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
障がい種別にかかわらず地域担当制により構築した総合的な相談支援を実施する支援体制を維持し、地域差なく幅広い相談に応じていく体制をより推進する。	9,000件	45,295

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ―1―(1) 生活支援課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(1) 困難を抱えた女性等に対する支援

担 当 部 署

福 祉 部

生 活 支 援 課

事業名	事業概要
① 貧困に直面する女性等に対する支援	貧困を抱える方への必要な経済的支援

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	就労支援総人数:128人 新規就労数:56人 就労による生活保護廃止数:7人	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	新規就労数年間58人
---------------------------	--	----------------------------	------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
就労支援員とケースワーカーで連携し、求人の紹介等を行い、被保護者の求職活動を支援し、新規就労数の増加を目指す。	57人	—	新型コロナウイルス感染症拡大以降、増加傾向となっている要保護世帯に対し、適切に就労支援を行った。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
就労支援員とケースワーカーで連携し、求人の紹介等を行い、被保護者の求職活動を支援し、新規就労数の増加を目指す。	57人	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年度 末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
就労支援員とケースワーカーで連携し、求人の紹介等を行い、被保護者の求職活動を支援し、新規就労数の増加を目指す。	58人	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上だった理由の記載をしてください。

協議会コメント
十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—1—(1) 教育指導課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

教 育 指 導 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女共同参画に関する教育の充実

事業名		事業概要	
① 発達段階に応じた男女平等教育の推進・充実		男女のからだの仕組みの違いや、性の有り方など発達段階に応じた教育の指導	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	各学校において指導	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	各学校における指導の継続

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
当該指導を各学校の保健体育の授業で実施する。	市内17校 各学年 1時間以上	—	各学校において適切に指導を行うことができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
各学校で保健体育の授業で実施した(該当学年1時間以上)。 ・小学校の保健授業「体の発育・発達」で実施した。 ・中学校保健体育の授業「生殖にかかわる働きの成熟」で実施した。 発達段階に応じた指導を行うことができた。	市内17校 各学年 1時間以上	—	☒ 年度ごと ☐ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
当該指導を各学校の保健体育の授業で実施する。	市内17校 各学年 1時間以上	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がつた理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—1—(1) 教育指導課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

教 育 指 導 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女共同参画に関する教育の充実

事業名		事業概要	
② 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解の促進		人権研修の実施	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	人権教育研修会を実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	人権教育研修会の実施を継続 各学校での伝達講習の実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
各小中学校教職員を対象に、人権教育研修会を実施する。 初任者教員を対象に「人権はじめの一步」として研修を実施する。	人権教育 研修会 年2回 各17名 初任者 研修 27名	—	神奈川県の人権教育指導者養成研修を受けた指導主事が人権教育研修会の講師を務め、県の人権教育の指針に基づいた研修を実施することができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
身近な生活の中に、男女の性差を含めた様々な人権課題が存在していることに気付くとともに、人権感覚を日々磨き続ける重要性について実感してもらうことができた。また、様々な人権課題に係る資料の提示や「めぐみ」の視聴等、今後も取り組むべき課題があることを示すことができた。	人権教育 研修会 年2回 各17名 初任者 研修 27名	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
各小中学校教職員を対象に、人権教育研修会を実施する。 初任者教員を対象に「人権はじめの一步」として研修を実施する。	人権教育 研修会 年2回 各17名 初任者 研修 18名	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—1—(1) 教育指導課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

教 育 指 導 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(1) 教育現場における男女共同参画に関する教育の充実

事業名		事業概要	
② 指導者・保護者の男女平等教育に関する理解の促進		指導者への男女平等教育に関する学習機会の提供	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	各種研修を実施し、人権感覚を磨くことを 目指している。	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	指導者の人権感覚の向上

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
男女平等教育も含めた人権研修、 PTA研修講座、 教職員研修(事故防止会議内で実施)を実施する。	年1回以上	—	事故防止への意識を高めるとともに、人権感 覚の向上に資することができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
案内を送付した。(一例) ・知ることからはじめる人権啓発研修講座 ・第1回 人権教育指導者研修講座 ・第2回 人権教育指導者研修講座 ・人権教育学習会	年1回以上	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
男女平等教育も含めた人権研修、 PTA研修講座、 教職員研修(事故防止会議内で実施)を実施する。	年1回以上	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 教育指導課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担当部署

教育部

教育指導課

事業名		事業概要	
① いじめ、暴力行為防止のための取組		暴力防止に関する授業の実施	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	事故防止会議内で実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	事故防止会議内での実施を継続

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
当該授業を事故防止会議内で実施する。 新規の部活動指導協力者(外部指導者)について、市教委指導主事による研修を実施する。	各校、年に4回以上 部活:新規採用指導者に対して実施	—	指導者の人権感覚の向上に資することが出来た。コミュニティ・スクールや部活動の外部指導者など、学校外の関係者に対しても研修の機会が持てるとよい。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
市内小・中学校で、「事故防止会議(研修)」を実施した。部活動における新規の部活動指導協力者(外部指導者)について、市教委指導主事による研修を実施した。人権感覚の向上に資することができた。	各校:4回以上/年 部活:新規採用指導者に対して実施	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
当該授業を事故防止会議内で実施する。 新規の部活動指導協力者(外部指導者)について、市教委指導主事による研修を実施する。	各校:4回以上/年 部活:新規採用指導者に対して実施	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(1) 教育指導課】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(1) 多様な暴力の根絶に向けた予防啓発(デートDV、セクシュアル・ハラスメント等)

担当部署

教育部

教育指導課

事業名		事業概要	
③ 若年層に向けた暴力行為防止のための取組		相談に関する事業の周知	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	若年層(特に中学生)において、暴力行為防止に対する意識啓発が必要。	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	児童生徒が自らの意思で暴力行為を予防する行動をとることができる

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
各学校で保健体育、道徳などで暴力行為防止に関する授業を実施するとともに、情報モラル教育においても暴力行為防止について扱う。	市内17校 各学校 1時間以上	—	各学校で目標としていた授業時数を実施することができ、一定の成果が見られたが、SNSを介したトラブルなどがあった。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
主に保健体育及び道徳の授業で実施した(該当学年1時間以上)。 ・小学校保健の授業「犯罪から身を守るために」で実施した。 ・中学校保健体育の授業「異性の尊重と性情報への対処」「性への関心と行動」で実施した。 暴力は人権侵害であることを授業等で取り扱うことができた。	市内17校 各学年 1時間以上	—	■ 年度ごと □ 複数年度単位		/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
各学校で保健体育、道徳などで暴力行為防止に関する授業を実施するとともに、情報モラル教育においても暴力行為防止について扱う。	市内17校 各学年 1時間以上	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上昇理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅲ―1―(2) 教育指導課】

【社会づくり】

重 点 目 標

Ⅲ 一人ひとりが多様な生き方を選択できる社会づくり

基 本 的 方 向

1 誰もが自分らしく暮らせる環境の整備

具 体 的 方 向

(2) 多様な性に関する理解及び環境整備

担 当 部 署

教 育 部

教 育 指 導 課

事業名	事業概要
③ 多様な性に関する学習機会の提供	多様な性に関する講座等の啓発

プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	令和4年度より中学校標準服の改訂 国・県の情報を周知 発達段階に応じた学習の機会の提供	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	国・県の情報を随時発信 発達段階に応じた学習の機会の充実
---------------------------	---	----------------------------	---------------------------------

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
発達段階に応じた男女平等教育を実施する。	市内17校	—	各学校において適切に指導をすることができた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
授業や日々の学校生活の諸活動(係活動や常任委員会活動など)、行事等を通じ、発達段階に応じた男女の平等意識を育んだ。性別にとらわれることなく学習を進めることができている。	市内17校	—	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果 における評価		プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価	
			A		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
発達段階に応じた男女平等教育を実施する。	市内17校	—

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(2) 教育研究所】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

教育部

教育研究所

事業名		事業概要	
① 情報に関する正しい認識力を高める学習機会の提供		教育機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	全校実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	全校で複数回実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
情報モラル教育を実施する。委託業者や外部団体から講師を招いたり、本市の情報教育アドバイザーによる教職員向けの研修会及び児童生徒向けの講習会を実施したりして、各校の支援を強化する。	全校	6,120	おおむね各校で実施できた。今後も実態に即した情報モラル教育を進めていきたい。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
情報モラル教育については、委託業者や外部団体から講師を招いて、教職員向けの研修会及び児童生徒向けの講習会を実施し、各校の支援を行った。	全校	6,120	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
情報モラル教育を実施する。委託業者や外部団体から講師を招いたり、本市の情報教育アドバイザーによる教職員向けの研修会及び児童生徒向けの講習会を実施したりして、各校の支援を強化する。	全校	6,120

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【Ⅱ—2—(2) 教育研究所】

【人権の尊重】

重点目標

Ⅱ 暴力の根絶と人権の尊重

基本的方向

2 あらゆる暴力の根絶と予防のための啓発

具体的方向

(2) 有害情報等による被害防止のための取組

担当部署

教育部

教育研究所

事業名		事業概要	
② 有害情報等に関する被害防止等の啓発活動への取組		教育機関における携帯電話やインターネットを通じた情報の利便性と危険性の指導	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	全校実施	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	全校で複数回実施

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
当該指導について、委託業者や外部団体から講師を招くだけでなく、本市の情報教育アドバイザーを中心に様々な方法で児童生徒・教員・保護者へ啓発活動ができるように取り組む。	全校	6,120	保護者会等で啓発ができた。今後も様々な場面で取り組んでいきたい。			
実施結果	実績数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
委託業者や外部団体から講師を招いて、児童生徒に啓発したり、授業参観日や新入生説明会等で保護者向け講習会を実施したりと学校ごとに工夫し、保護者に対する啓発に努めた。	全校	6,120	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果における評価	プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価
					A	B

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標数値	予算 (千円)
当該指導について、委託業者や外部団体から講師を招くだけでなく、本市の情報教育アドバイザーを中心に様々な方法で児童生徒・教員・保護者へ啓発活動ができるように取り組む。	全校	6,120

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究していくことを望みます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 Ⅰ—1—(2) 生涯学習課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

生 涯 学 習 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(2) 生涯学習における男女共同参画に関する学習機会の推進

事業名		事業概要	
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発の実施		事業名：パパと遊ぼう 子どもの発達に応じた父親(男性)ならではの子どもとの遊び方を学ぶ	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	父親の育児への積極的な参加意識が高まっているものの、日中子どもと自宅でどのように接すればよいのかわからない男性がいる。	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	男性ならではの子どもとの遊び方を学ぶことにより、父親の育児参加を促しワンオペを防ぎ、保護者が共に助け合い健やかな子育てを行うことを目標とする。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等

※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
今まであまり積極的に子どもと関わらなかった父親に、この講座を受講することにより子どもと過ごす楽しさに気づき父親母親共に助けあって子育てするきっかけとすることを目指す。	40人	10	子ども達の発達に応じた運動機能に基づいた様々な運動などを実施できた。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
子ども達の発達に応じた運動機能に基づいた様々な遊びを実施した。	24人	10	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
			令和6年度の実施結果における評価		プラン終了時(令和12年度末)の目標に対する達成状況の評価	
			C		A	

○ 令和7年度の目標及び活動内容等

※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
今まであまり積極的に子どもと関わらなかった父親が、この講座を受講することにより、子どもと過ごす楽しさに気づき、母親と共に助け合って子育てをすることを目指す。	40人	10

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

成果を上げており、男女共同参画社会の視点に立った事業等の取組を引き続き推進していくことを望みます。令和6年度の実施結果における評価は、Bが妥当と考えます。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 Ⅰ—1—(2) 生涯学習課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

生 涯 学 習 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(2) 生涯学習における男女共同参画に関する学習機会の推進

事業名		事業概要	
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発の実施		各種講座の実施	
プラン開始時 (令和4年度 末)の状況	男女共同参画を意識した暮らしをテーマに講座を企画する	プラン終了時 (令和12年 度末)の目標	男女共同参画を意識した暮らしをテーマに講座を毎年行う

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
男女が共に子育てを楽しみ家族のコミュニケーションをはかる機会として講座を開設する。	30人	20	男女問わず親子で触れ合える機会となるような内容・日程の講座を企画することで、多くの参加者を得られた。休館中も他館・県と合同開催とするなど、事業継続することができた。参加者からは継続を求む希望が寄せられたため、引き続きニーズを捉えた企画を継続したい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
①「親子で壁新聞を作ろう」講座 ②「太古からの贈り物 冬の多摩川川床化石発掘体験」 ③「ペットボトルdeピッツア作り」 以上3講座を実施した。	131人	20	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12年 度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	A

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
男女が共に仕事と家事と子育てを担える男女共同参画を意識した講座の開設を継続目標とする。 北地区文化センターは引き続き休館中であるため、継続的な開設に向け、協働開催できる施設や部署等を検討し、内容の充実化を図る。	100人	20

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。このような内容の充実した企画を、他館及び県との連携も含め、継続してください。

第三次ざま男女共同参画プラン実施状況報告書

【 I—1—(2) 生涯学習課 】

【意識改革】

重 点 目 標

担 当 部 署

I あらゆる分野における男女共同参画の推進

教 育 部

基 本 的 方 向

生 涯 学 習 課

1 男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発

具 体 的 方 向

(2) 生涯学習における男女共同参画に関する学習機会の推進

事業名		事業概要	
① 生涯学習における男女共同参画意識啓発の実施		各種講座の実施	
プラン開始時 (令和4年度末)の状況	例年テーマを変えながら、ワークショップ形式で子育てを楽しむ工夫や子育ての悩みを出し合い、今後の生活について考えた。	プラン終了時 (令和12年度末)の目標	子育てを通じた配偶者と男女の平等についての意識の啓発の浸透を図る。

○ 令和6年度の目標及び活動内容等 ※目標数値及び実績数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)	担当課による事業の評価及び今後の課題			
子育てをする親の視点から男女の平等についての意識の啓発を図り、学びを深める講座の開設を目指す。	20人	205	受講者目標等は達成したが、男女平等について受講生により考察していただく工夫は必要だと感じた。例年複数回にわたる講座を開設していたが、今年度は年度後半より再開したため単発講座となってしまった。令和7年度は複数回の講座開催を目指したい。			
実施結果	実績 数値	決算 (千円)	目標達成のために要する年度単位			
写真撮影の講座を実施した。講座を通して、幼児を持つ親同士を繋げ、子育てを楽しむ工夫や子育ての学びや悩みを出し合い、生活の中の男女平等について考えることができた。	20人	10	☒ 年度ごと	☐ 複数年度単位	/	年
					令和6年度の実施結果 における評価	プラン終了時(令和12 年度末)の目標に対する 達成状況の評価
					A	C

○ 令和7年度の目標及び活動内容等 ※目標数値は実数値を入力

目標及び活動内容	目標 数値	予算 (千円)
子育てをする親の視点から男女の平等についての意識の啓発を図り、学びを深める講座の開設を目指す。	20人	205

○ 評価と評価内容について

A	目標に対する達成率が100%もしくはそれ以上
B	目標に対する達成率が70～90%
C	目標に対する達成率が40～60%
D	目標に対する達成率が10～30%
E	未着手

数値が評価を下回った場合でも内容により評価を上げることは可能です。
その場合は実施結果に評価の上がった理由の記載をしてください。

協議会コメント

十分な成果を上げており、今後も男女共同参画社会実現のための研究をしていくことを望みます。